

第12回 北海道 小・中・高生短歌コンテスト 受賞・入選者一覧

【 特別賞 】

【 北海道教育委員会教育長賞 】

夏休みディズニーランドのアトラクショントロッコに乗って風になったよ 函館市立万年橋小学校 4年 宮崎 蒼汰

【 北海道立文学館賞 】

リモコンを押してすぐの静かさに耐えられなくてもう一度押す 北海道札幌白石高等学校 3年 東山テリィサ

【 北海道歌人会賞 】

ペンギンがトンネルくぐってぴかぴかぴか空とぶようにおよいでいたよ 富良野市立麓郷小学校 2年 河野 智克

【 北海道新聞社賞 】

帰り道昔あそんだブランコが遊んでいけよとさびしくゆれる 立命館慶祥中学校 1年 伊藤 孫一

【 優秀賞 】

※計8名

パパと見たつきとせいざながればしひゆーきらりんとかがやいた 小樽市立稲穂小学校 3年 佐野 真美

お父さんいつになってもおきないよめざましどけいにわたしがなるよ 富良野市立麓郷小学校 2年 鈴木 梨央

五稜郭北の歴史を感じると星の形も美くなる 札幌市立屯田南小学校 6年 佐々木 葵

満天の礼文の海に光ってるいさり火の船一等星 利尻富士町立鷺泊小学校 4年 西島 一樹

一億年じかんをこえてやってきたアンモナイトよ大きな化石 札幌市立北野中学校 2年 齋藤 和佳

生い茂る深緑に染まる草花をベールのように包む朝もや 余市町立東中学校 2年 木原 絵

夏夜の霜嘆きの父母に降りそそぐ遺影で笑う君は十六 札幌聖心女子学院高等学校 2年 瀧田 小麦

着慣れない浴衣の帯の苦しさとカラリと鳴る下駄夏の思い出 北海道小樽工業高等学校 3年 市川 絢菜

【 佳作 】

※計16名

しらぬかのうみできれいなはなびみたまたらいねんもかぞくでみたい 釧路市立鳥取西小学校 1年 山根 悠聖

ラベンダーきれいにさいてるつうがくろかぜにゆられていいかおりだね 札幌市立琴似小学校 1年 山田 敬介

あまずっぱいハウスでそだったミニトマトパパがつくった赤いほうせき 富良野市立麓郷小学校 2年 横井 泰河

お父さん夜にトラクターあらってるわたしもたまにあそんでほしい 富良野市立麓郷小学校 2年 渡辺 理心

雨の日になくなった母思い出し雨のようにしとすと泣く 帯広市立帯広小学校 4年 水野 広穂

夕やけのテニスコートでボールうつオレンジ色のおひさまひかった 函館市立万年橋小学校 4年 西村 華

運動会キレッキレにおどるよさこいは動き大きくライオンみたい 函館市立万年橋小学校 4年 升田さとみ

学校で涙こらえたその日には母のとなりで玉ねぎきざむ 北海道教育大学附属札幌小学校 4年 都筑 暖和

見えてきた大雪山の奥の空車窓に入る風もさわやかに 旭川市立光陽中学校 2年 大砂 百恵

色褪せてあなたも景色も駆け抜ける心の隙間を秋風のように 旭川市立東陽中学校 2年 佐々木ゆな

ぐんぐんとのびるよのびるトロンボーン心に響け私の音色 北見市立光西中学校 2年 山田 彩寧

八月の爆撃のがれ樺太の祖父がいて自分がいまいる 札幌市立星置中学校 1年 蠣崎 誉

分岐点先が見えなく我に言うこれでいいのかわりでいいのだ 北海道岩見沢高等養護学校 3年 釣谷 悠太

おかえりと言うかのように自転車で待ってくれた赤色とんぼ 北海道札幌白石高等学校 3年 仲野安彩子

傲慢な秋に吹かれた風鈴がやむなく鳴るのを夏は好まぬ 北海道札幌南高等学校 1年 清水 将也

さよならの声と一緒に夏風が帽子と君をさらって行く夜 北海道弟子屈高等学校 2年 一ノ戸利雄

【 入選 】

※計60名

あさがおのはじめのはっぱかわいいねハートのかたちこいしてるから 札幌市立澄川小学校 1年 眞田 花

かさなってお日さまみたいいちめんのかれ葉のマットあか・き・だいたい 札幌市立澄川小学校 3年 眞田 桃

あおいそらおやまがきえたでんせんがちいさくなつたくもがかくした 札幌市立平岡公園小学校 1年 古賀琥太郎

ソーセージようじかさよおばあちゃん思い出のこる夏の朝食 札幌市立円山小学校 3年 矢野 七雨

あさごはんおいしかったよパンたべたバターたつぷりごちそうさま 札幌市立山の手養護学校小学部 3年 菅澤 蒼太

いねの波秋風とおりガサガサととんぼが止まる青いぼうしに 鷹栖町立鷹栖小学校 2年 佐々木貫太

おじいさんビールをのんでおこられるこっそりのむよのんじゃったな 函館市立鍛神小学校 3年 川尻 優風

夏の雨かえるがぴょうとはねているさい後の葉っぱしっぱいしたよ 函館市立鍛神小学校 3年 竹内 莉悠

夏休み海でおよぐよひやけたおふろに入っすごくいたいな 函館市立鍛神小学校 3年 仲田 大翔

夏休み花いっぱいさいていてハチいっぱいきてミツをすう 函館市立鍛神小学校 3年 柳原 奈苗

秋のはっぱ風といっしょに旅をするいちょうにもじきれいな形 函館市立鍛神小学校 3年 山下 瑠花

暑い夏せんぼうきあびかき氷あつという間になくなりかけた	東川町立東川第二小学校	3年	矢部 恵衣
オランウータン高いところでつなわたりちやいろでふわふわふくろのフランチ	富良野市立麓郷小学校	2年	高津愛葉音
お父さんあまりあそんでくれないよよこにすわったあぶらのにおい	富良野市立麓郷小学校	2年	松下 楽
はじめてのぶたいこうえんとうきょうでないてわらって7才のなつ	北海道教育大学附属札幌小学校	2年	高倉小桃愛
日の光雲一つない青空は水辺のかがみの別の世界	帯広市立帯広小学校	4年	堀口亜仁衣
あじさいは青紫のホテルだよ虫達せん用花かれるまで	北広島市立緑ヶ丘小学校	5年	三浦 花音
くもり空星達みんなかくれんぼ見つけれられるかねるときまでに	札幌市立栄南小学校	6年	渡 勇輝
夏休み太陽の下で鬼ごっこかげがのびたらさびしく帰る	札幌市立札幌北小学校	6年	児見山 仁
海開きビーチバレーにスイカ割り水でっぽうで水のかけ合い	札幌市立札幌北小学校	6年	田中 佳太
月うつし光る小川の清流の冷たき欠片顔にあびせて	札幌市立札幌北小学校	6年	村田三千花
まっくらな光1つのやどのへや聞こえる小声「ねえねえもうねた？」	札幌市立常盤小学校	6年	須田 心
消灯後「すきな子いるの？」暴露会ドキドキとまらず笑いとまらず	札幌市立常盤小学校	6年	乗安 莉奈
ひらひらと木の葉が落ちて音が鳴るかざりと秋を教えてくれる	札幌市立星置東小学校	6年	元岡 樹玖
サーカスのピエロと初めてタッチしたもうじゅうショーははくりよくがある	札幌市立円山小学校	6年	小松 祐斗
オンネトー写真にとってもうつらないこの美しき目にやきつける	札幌市立円山小学校	6年	橘 日向子
夕ぐれに仕事続ける父のかけ夕日にはえるトラクターかな	更別村立上更別小学校	4年	平山 晴大
水たまり太陽あたってきれいだなのぞいてみると自分がうつる	中札内村立中札内小学校	4年	瀬藤 里彩
サーカスのホワイトライオンかっこいいバイクが回る大きな円で	函館市立中部小学校	4年	岸波 梨世
よさこいを上手におどれた運動会終わったときにはくしゅいっぱい	函館市立万年橋小学校	4年	垣内 愛
草香る雲一つない空の下両手広げて夏抱きしめる	旭川市立東陽中学校	2年	石澤 奈々
演奏会水戸黄門にリズムとり笑顔が咲いた老人ホーム	小樽市立朝里中学校	2年	中井 涼葉
帰り道そつとよりそい手を伸ばす君にとどいて小さな勇氣	小樽市立菁園中学校	2年	藤島 周
君を想い眠れぬ夜に今日もまたお月様との恋の相談	北広島市立大曲中学校	2年	稲垣 彩乃
朝起きてささやきかける潮の匂いテントを出ると宝石の海	北広島市立大曲中学校	2年	酒井 蓮
五月雨に打たれてしなる葉桜がゆがんで見えたガラス越しの朝	北広島市立大曲中学校	2年	中田 直宏
教科書の端のページに書かれてる秘密の言葉消せない思い	北見市立光西中学校	2年	大多喜もえ
「行かないで」秘めた想いは口つぐみ君との日々を新たに築く	北見市立光西中学校	2年	柳橋 風香
鶴の舞白い雪原親鳥が綺麗に舞うなか幼き子鳥	釧路市立鳥取西中学校	2年	村山 大河
傘をさし野外を歩き一億年ひとまたぎして昔の三笠	札幌市立北野中学校	2年	片山 弥優
霜焼けに肩を寄せ合い待つ列車1つのマフラー2つの想い	千歳市立北斗中学校	3年	倉島 和子
6年間ずっと使っていたランドセル思い出の分キズもたくさん	苫小牧市立青翔中学校	2年	福田 悠生
サクソをもっと上手に吹きたくてケースを抱え坂道下る	室蘭市立港北中学校	2年	片桐 純玲
ラインでは心の中は読みとれぬ明日も会いたい友の笑顔に	立命館慶祥中学校	1年	松賀 瞳直
亡き祖父と過ごした夏の楽しさを蘇らせる真っ赤なトマト	立命館慶祥中学校	2年	根岸 慶
部活動おわるころにはTシャツに個性あふれる汗の形	帯広北高等学校	1年	泉田 深愛
しゃがみこみ背中を丸めて見つめてる線香花火に輝く君の目	帯広北高等学校	1年	林 彩那
道場の静寂吸い込み引く弓の離れて響く射抜く音	帯広北高等学校	1年	堀田 果林
夜九時に乗ってるバスの隣には僕が見つけた夏の大三角形	帯広北高等学校	3年	川端 一輝
広大な日勝の山の静けさにぬける夏風回るさえずり	帯広北高等学校	3年	佐藤 有沙
水筒と重いカバンと譜面台高一の夏が汗をかいてる	北海道旭川工業高等学校	1年	福士 陸
もし君が石ころぼうしかぶっても僕は見つける君だけを見る	北海道旭川工業高等学校	3年	関 蒼斗
ジジジと溶接の音トーチ持ち火花飛び散る慣れない操作	北海道小樽工業高等学校	1年	神田 侑汰
手を引かれ君と一緒に駆けていく夏の草原揺れる陽炎	北海道小樽工業高等学校	2年	窪内 渉
広島は今日のように暑かった七十二年前八月六日	北海道小樽工業高等学校	3年	鈴木 優斗
愛してたなんて言葉も言えなくて離ればなれの花びらが散る	北海道札幌白石高等学校	3年	五十嵐結唯
友達と関わるほどに消えてゆくほんとの自分素直な自分	北海道札幌白石高等学校	3年	佐藤 堇
夏の熱遠くでゆるるしんきろう鮮やかにうかぶ過去の思い出	北海道滝上高等学校	3年	徳川 愛菜
めずらしく君からLINEおはようとそれだけでまた好きになっていく	北海道津別高等学校	2年	仲田 小夏
いつのまにこけしにきのこゆでたまご定着してるわたしのあだ名	北海道津別高等学校	3年	紺谷はるか

入賞されたみなさま、まことにありがとうございます。